

庚申川一大支流から静かな山頂を訪ねる

庚申川支流笹ミキ沢～塔ノ峰

日 程 2016年8月26日(金) 日帰り

メンバー CL齋藤 SL平川

天 気 晴れ

山行所感

庚申川の支流の笹ミキ沢は以前から知っていたが足尾はあまりにも近いのでいつでも行ける気がしてなかなか足を踏み入れるタイミングがなかった。ちょうどその日の夜は会の新人歓迎会&暑気払いの飲み会なので近場の沢に登り、温泉に入って、飲み会には十分間に合うと思い計画してみた。もちろん地元の足尾の沢や山の探求が一番の目的だ。

そんな平日の贅沢な沢登りに若手ホープの平川くんが快く同行してくれた。平川くんは今シーズンから沢登りに目覚め、すでに8本を登り、トップをいく飯野さんと落合さんに迫る勢いである。

笹ミキ沢は鬱蒼とした小さい沢かと思っていたが庚申川的一大支流だけあって沢幅、水量ともにしっかりとした沢だ。水もきれいで南面なので日差しが水面に差し込むとさらにきれいで心が癒された。

今回はほとんどを平川くんが先行してくれた。少しずつ沢力(さわぢから)がついてきているのが感じられ、なんだか嬉しい気持ちになった。今シーズン12本の飯野さんについても同じである。最近会では沢登りをする人が増え、その魅力を少しずつ感じてもらえたらいいなと思う。

笹ミキ沢は釜ありへつりあり大滝あり高巻きありと沢の要素が詰まった沢だ。今回は塔ノ峰の静かな山頂を巡ってみたいと思い、通常登られる左俣ではなくあまり記録もない右俣から登ってみることにした。右俣は大滝で出合い、途中にも大滝をかけるのみで特に問題となるところはなかった。源頭で笹を少しばかりこぐと目の前には塔ノ峰のなだらかな山頂が広がっていた。正面には皇海山を望み、この静かな山頂はなんとも心が落ち着く場所であった。時間が許すなら何時間でもこの山頂で時間を忘れてただ風に吹かれていたいと思った。

またいつか笹ミキ沢から塔ノ峰に再訪してみたい。

(所感：齋藤)

